

第7回 農業後継者りんご整枝せん定講習会兼競技会（筆記試験）

団体名		番 号		氏 名	
-----	--	-----	--	-----	--

問1、次の文章の（ ）に正しい用語を下から選びなさい。 20点（各2点）

- ①枝は高い位置や（ 先端 ）から出たもののほど生育が（ 旺盛 ）である。
- ②果実の（ 肥大 ）や着色を促したり、翌年に向けて充実した花芽を形成するためには、（ 日光 ）と養水分が必要である。
- ③りんごの（ 花芽 ）形成は、主に7月上旬頃から8月下旬頃にかけて行われる。
- ④花芽が分化する順序は、（ 短果枝 ）、中果枝、（ 長果枝 ）の順である。
- ⑤一般に弱小芽とは花芽の横径が（ 3ミリ ）以下のものをいう。
- ⑥若木や樹勢の強い樹には（ 間引き ）剪定、樹勢の弱い樹には（ 切り返し ）剪定が基本である。

肥大 切り返し 短い 先端 低温 基部 短幹 養水分 長幹 長い 日光 穏やか 間引き 花芽 時間 3ミリ 5ミリ 1センチ 旺盛 高温 種子 短果枝 長果枝
--

問2、次の説明に合致する語句を下から選びなさい。 15点（各3点）

- ①同一部から、同勢力の枝が3本以上発生している状態。 答え（車枝）
- ②生育旺盛な枝に対し、花芽形成を促すために利用する枝。 答え（けん制枝）
- ③同等の勢力の枝が同一場所か二又に分かれている状態。 答え（共枝）
- ④主軸の伸長方向に対して直角に出た枝。 答え（角枝）
- ⑤栄養生長が盛んで花芽がつきにくい枝。 答え（徒長枝）

上向枝 角枝 發育枝 平行枝 共枝 車枝 フェザー 果台枝 休眠芽 けん制枝 副梢 徒長枝 下垂枝 結果枝
--

問3、次の説明に合致する人物を下から選びなさい。 12点（各4点）




- ①明治中～後期にかけての病虫害多発期にボルドー液や袋掛けを普及し、また、剪定による樹形改造も行いりんごの神様と呼ばれている。 答え 外崎嘉七
- ②第2次大戦後、荒廃したりんご園の復興に立ち上がり、「青森県りんご協会」を設立し戦後復興の祖と呼ばれている。 答え 渋川伝次郎
- ③ふじの栽培研究や無償で穂木を供与するなど、ふじの普及に尽力した。 答え 斎藤昌美

外崎嘉七 対馬竹五郎 木村甚彌 菊池楯衛 渋川伝次郎 田澤賢次 斎藤昌美 山下兼四郎
--

問4、次の問いに答えよ。28点（各4点）

- ①Aさんは丸葉台樹を10本当たり列間4メートル、樹冠6メートルで改植を行った。今年、列間の間伐を行ったところ10本当たりの本数は何本になったか？  
間伐を行うと列間は8メートルになるため、  
計算式は10×100÷(8×6)= 20.8  
答え 20～21本
- ②Aさんは山手のりんご園10本当たりに窒素で12キログラム施肥したいと考えた。1袋当たり20キログラムの有機質肥料（N12P14K3）では何袋必要か？  
12キログラム÷(20キログラム×0.12) = 5  
答え 5袋
- ③Aさんは輪紋病防除を目的に有機銅剤1,200倍（1袋835グラム）を散布した。1,000リットル当たり殺菌剤を何本使用したか？  
1,200（倍）×835（グラム）÷1,000= 1,002ミリの薬液が出来る  
答え 1袋
- ④青森県のりんご病虫害防除では特別散布を除き基準薬剤の散布回数は何回か？  
答え 10回
- ⑤りんごやナシ及びイチゴは何科の植物に分類されるか？  
答え バラ科
- ⑥ふじの掛けあわせを書きなさい。  
例：トキ 「王林」×「ふじ」  
答え「国光」×「デリシャス」
- ⑦りんごを漢字で書きなさい。  
答え 林檎

問5、以下の図に適した語句を選べ。15点（各3点）

				
カメムシ 被害	モモンクイガ 被害	炭そ病	輪紋病	モニリア病

炭そ病 腐らん病 褐斑病 カメムシ 輪紋病 黒星病 リンゴコカクモンハマキ モニリア病 斑点落葉病 えそ斑点病 ビターピット モモンクイガ アブラムシ
--

問6、整枝剪定の目的を答えよ。10点

果実品質の向上、収量の維持または増強、作業性の向上、樹体の維持、以上4つの項目が含まれていれば満点とする。なお1項目ごとに2点の加点とする。